

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ブロッコリー

コード番号 2706 URL <http://www.broccoli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 知治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 渡邊 朋浩

TEL 03-5372-6322

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	1,150	△50.8	309	398.1	308	441.2	329	619.2
24年2月期第1四半期	2,341	△0.8	62	—	57	—	45	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	10.07	—
24年2月期第1四半期	1.40	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年2月期第1四半期	2,210	—	1,245	—	56.3
24年2月期	1,970	—	1,030	—	52.3

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 1,245百万円 24年2月期 1,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	3.50	3.50
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,032	△41.1	360	25.4	359	28.7	379	136.9	11.60
通期	3,600 ～3,800	—	450 ～550	—	450 ～550	—	450 ～550	—	13.76 ～16.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」に記載のとおり、通期業績予想につきましては、レンジ形式で記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期1Q	32,713,211 株	24年2月期	32,713,211 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年2月期1Q	694 株	24年2月期	211 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期1Q	32,712,543 株	24年2月期1Q	32,713,000 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中でありませ

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第1四半期累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響が残る中、景気は緩やかに持ち直しつつありますが、再燃した欧州の債務問題や需要時期における電力不足懸念、将来の消費税増税等、先行きについては依然不透明な状況が続いております。

当社が属するエンターテインメント業界におきましては、引き続き底堅い市場を維持しておりますが、コンテンツ関連は、ソーシャルゲームを含むネットワークゲーム市場の拡大、電子書籍のデバイス各種の充実が進んでおり、違法デジタル・ダウンロードの法整備強化等あるものの、企業間競争は、ますます激化しております。

当社は、かかる経営環境下において、収益力の更なる向上を実現するために、「自社内にて開発するコンテンツのヒット創出及びハイリターンへの追求」、「リアルグッズ製作での確実な収益確保」の2つを両立する事業戦略（ツインエンジン化）を推進しつつ、長期滞留在庫の管理強化及び徹底したコスト削減にも注力してまいりました。

このような状況下、当第1四半期累計期間の売上高は1,150百万円（前年同期比49.2%）、売上総利益率は46.3%（前年同期比20.4ポイントアップ）、売上総利益は533百万円（前年同期比88.1%）となりました。

この主な要因としましては、平成23年6月1日をもって株式会社アニメイトに当社リテール事業を譲渡いたしましたことにより、エンターテインメント事業の売上高のみになっているものの、平成24年5月に発売されたゲームソフト『うたの☆プリンスさまっ♪Debut』の売上が好調であった他、関連作品のバックオーダーも順調であったことや、同タイトル関連CD及び新規のタイアップCDが好調な売上であり、ゲーム・CDの両部門ともに計画を上回ることができたこと、グッズ・カードゲーム部門では、ほぼ計画通りに推移したことなどが挙げられます。

販売費及び一般管理費につきましては、経費圧縮を推し進め、223百万円（前年同期比41.2%）となりました。

この結果、営業利益は309百万円（前年同期比498.1%）、経常利益は308百万円（前年同期比541.2%）、四半期純利益は329百万円（前年同期比719.2%）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は2,119百万円で、前事業年度末に比べ218百万円増加しております。現金及び預金の減少203百万円、売掛金の増加438百万円、仕掛品の減少11百万円が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は90百万円で、前事業年度末に比べ21百万円増加しております。ソフトウェアの増加19百万円が主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は730百万円で、前事業年度末に比べ191百万円減少しております。買掛金の増加32百万円、事業譲渡に伴うポイント精算の確定等による未払金の増加216百万円、未払法人税等の減少5百万円、返品調整引当金の増加5百万円、事業譲渡損失引当金の減少376百万円、その他各種引当金の減少34百万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は234百万円で、前事業年度末に比べ217百万円増加しております。事業譲渡に伴うポイント精算の確定による長期未払金の増加200百万円、リース債務の増加17百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,245百万円で、前事業年度末に比べ214百万円増加しております。これは、四半期純利益329百万円が計上された一方で、配当金の支払114百万円が行われたことが主な要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は、日本発の代表的なサブカルチャーである、コミック、アニメーション、ゲーム、音楽等のコンテンツ、そしてそこから派生したキャラクタービジネスを主要なビジネスフィールドとしており、その中における当社の事業戦略は、リアルグッズ・メーカーとしての確実な収益確保をバックボーンとしつつ、コンテンツ・メーカーとして社会に向けての夢の発信と、クリエイティブな、そしてハイリターンを視野に入れたチャレンジを実行するという2つであります。

上記事業戦略におきましては、コンテンツ開発機能を軸として、ゲーム、音楽CD、カードゲーム等へのスムーズな製品展開を行い、コンテンツそのものの持つ価値を最大化していくことで、成果に応じたリターンを得ることができそうですが、コンテンツそのものの利益も二次製品の利益も、損益分岐点を境にして、大きく変動する要素を持っております。

また、リアルグッズにつきましても、業界における当年度のヒットコンテンツの有無やそのライフサイクルの長さによっては、製品展開が大きく変動する要素があります。

このような業績変動に伴う不確実性を鑑み、今後の売上高の増減による利益影響を考慮して、通期の業績予想につきましてはレンジ形式により金額表示しております。

なお、業績予想数値については、平成24年7月11日に公表した数値から変更しておりません。今後、業績予想の見直しの必要性が生じた場合は、速やかに業績予想の修正に関するお知らせを発表いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日及び現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものでありますが、業績等につきましては現在当社が進めております業務提携の進捗の状況やその他様々な要因により、今後大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,273,984	1,070,757
売掛金	267,178	706,039
商品及び製品	98,062	95,901
仕掛品	73,000	61,097
原材料及び貯蔵品	1,066	10,393
その他	188,707	175,884
貸倒引当金	△800	△742
流動資産合計	1,901,199	2,119,331
固定資産		
有形固定資産	17,368	18,495
無形固定資産	16,663	36,608
投資その他の資産		
その他	36,924	37,705
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	34,924	35,705
固定資産合計	68,956	90,809
資産合計	1,970,156	2,210,140
負債の部		
流動負債		
買掛金	250,514	282,946
未払金	70,231	287,036
未払法人税等	6,310	1,254
返品調整引当金	27,695	33,162
役員賞与引当金	20,000	—
事業譲渡損失引当金	376,422	—
その他の引当金	21,592	6,878
その他	149,526	119,281
流動負債合計	922,292	730,559
固定負債		
長期未払金	—	200,000
その他	17,295	34,427
固定負債合計	17,295	234,427
負債合計	939,587	964,986

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,000	330,000
資本剰余金	35,352	35,352
利益剰余金	664,785	879,807
自己株式	△20	△81
株主資本合計	1,030,117	1,245,078
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	451	75
評価・換算差額等合計	451	75
純資産合計	1,030,569	1,245,154
負債純資産合計	1,970,156	2,210,140

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	2,341,383	1,150,965
売上原価	1,736,026	617,770
売上総利益	605,356	533,195
販売費及び一般管理費	543,276	223,948
営業利益	62,080	309,246
営業外収益		
受取手数料	14	55
その他	6	5
営業外収益合計	20	61
営業外費用		
支払利息	5,041	454
その他	0	64
営業外費用合計	5,041	518
経常利益	57,059	308,788
特別利益		
事業譲渡損失引当金戻入額	—	24,122
貸倒引当金戻入額	205	—
特別利益合計	205	24,122
特別損失		
固定資産除却損	—	78
災害義援金	6,158	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	419	—
特別損失合計	6,577	78
税引前四半期純利益	50,686	332,832
法人税、住民税及び事業税	4,871	3,315
四半期純利益	45,815	329,517

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	リテール 事業	エンターテイン メント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,721,155	620,227	2,341,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,721,155	620,227	2,341,383
セグメント利益	2,311	59,769	62,080

(注)セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

当社の報告セグメントはエンターテインメント事業のみの単一であるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

平成23年6月1日付でリテール事業を譲渡したため、前第2四半期会計期間よりエンターテインメント事業のみの単一セグメントとなっております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。